

平成24年度

決算報告

邑楽町の財政状況は、健全なのか？



平成24年度の一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計の決算は、歳入総額86億9,881万円（前年度比3.0%減）、歳出総額82億5,021万円（前年度比2.5%減）でした。



86億9,881万円 **歳入**
 - 82億5,021万円 **歳出**
 4億4,860万円 **剰余金**

😊 歳入と歳出の差額が黒字になりました
剰余金の使い道は？

▶決算の結果、4億4,860万円が黒字になりました。うち25年度へ繰り越した金額を除いた2分の1以上は町の貯金に積み立てられます。返済期限を繰り上げて行う地方債の返済に充てることもあります。

邑楽町の財政は、
 どうなってるにゃあ？

町の財政は健全に運営されているのだろうか…。
 それにしても財政用語は、
 難しいぞ！

タイヨウにゃん

タワー戦隊スワンジャー

邑楽町の財政が気になるスワンジャーとタイヨウにゃん

Monthly Pick Up

即売コーナー▶果物、お米、野菜、肉類、衣料品、そば、うどんなど
 模擬店コーナー▶焼きそば、フランクフルト、から揚げ、みそおでんなど

▶商工業製品等展示会

展示/販売コーナー▶農機具、自動車

無料サービスコーナー▶包丁研ぎ、豚汁、おにぎり、いも煮、きなこ餅など（数量限定）

※内容が変更になる場合があります。

その他▶邑楽町スタンプ会抽選会（抽選券が必要）、お米のつかみ取りなど

▶2013 おうら祭り絵画作品展

問合先▶邑楽町商工会 ☎88-0082

役場産業振興課 ☎47-5026

第20回 邑楽町産業祭

会場▶邑楽町役場周辺

11月3日 日

午前9時～午後3時

※シンボルタワー北広場駐車場が芝植栽のため大幅に縮小します。あらかじめご了承ください。



豪華 二大祭り 開催



●世代を超えて支え合うまちづくり
邑多福まつり 2013

会場▶保健センター

相談コーナー▶高齢者総合相談、健康相談

体験コーナー▶骨密度レベルチェック、歯磨き指導、体脂肪測定、高齢者筋力トレーニング教室、転倒予防教室

展示コーナー▶介護機器・介護用品展示、デイサービスなどの利用者作品展

イベントコーナー▶屋外ステージ、聴導犬、こども遊び広場（着ぐるみ、スライム作りなど）、献血（午前9時30分～11時30分、午後1時～2時30分）、災害時緊急炊き出し訓練

問合先▶役場福祉課 ☎47-5024

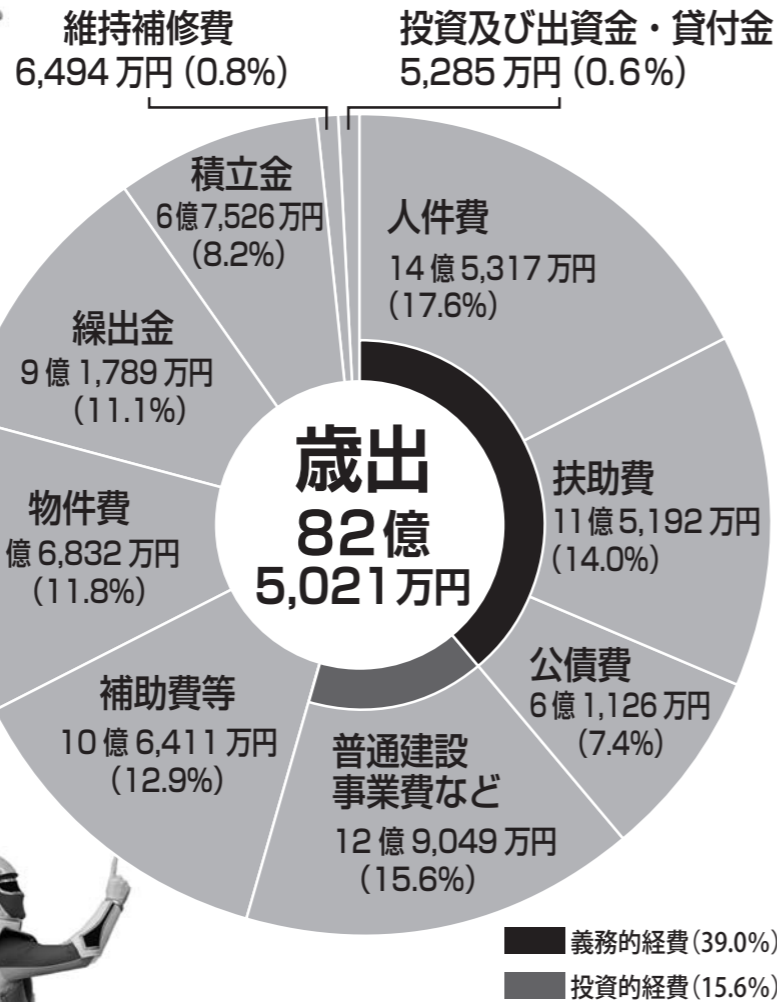


聴導犬による模擬訓練

歳出の義務的経費が、ちよっぽり減ってるにゃあ。それにしても義務的経費ってどういふものにゃあ？



▶歳出を性質別経費の内訳で掲載。性質別経費は、行政の支出を経済的な性質別に区分したものです。



一般会計 歳出

▶一般会計の歳出は、前年度より2億1,181万円減少しています。義務的経費は前年度より941万円減額。投資的経費（社会資本整備に充てられる経費）の普通建設事業費は、前年度より1億2,020万円増額しています。

▶義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、支出が法令で義務づけられているものです。義務的経費ばかりが増大すると、自由になるお金が少なくなり、柔軟性のある財政運営が困難になります。

▶人件費…職員の給料や議員の報酬などとして支払われる経費です。

▶扶助費…社会福祉、老人福祉、児童福祉、生活保護費の費用として計上される経費。

▶公債費…町債（借金）の返済に充てられるお金。



健全化判断比率 5つの指標で財政が健全かどうか分かる

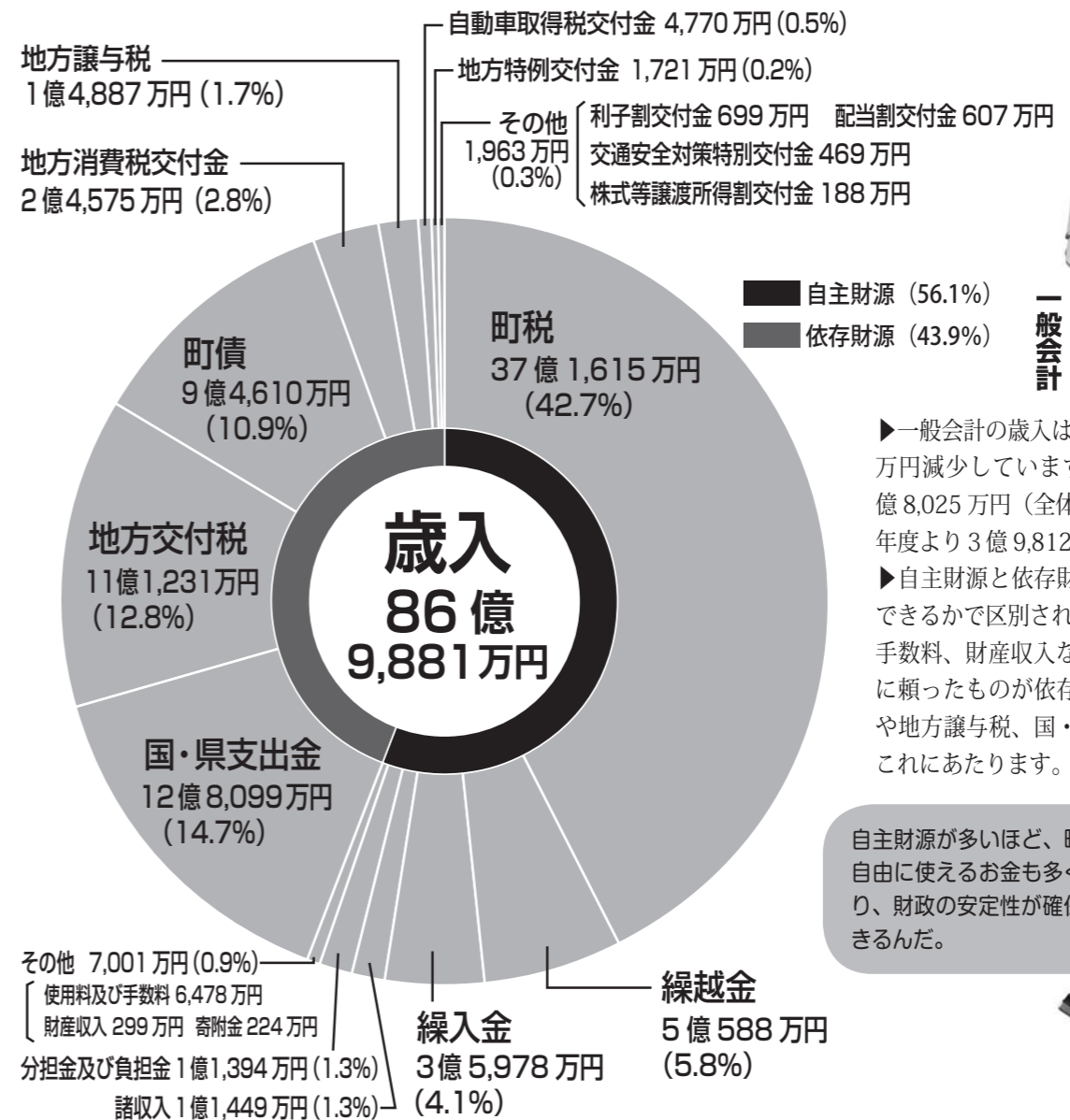
健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算定されず	14.68%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算定されず	19.68%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対しての借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	4.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されず	350.0%	—
資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
資金不足比率 公営企業会計（水道事業など）の営業収益における資金の不足額の割合	算定されず	20.0%	水道事業会計と下水道事業特別会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示。

- ①**実質赤字比率**→ 14.68%を超えると財政健全化団体。20%を超えると財政再生団体となります。
- ②**連結実質赤字比率**→ 一般会計と特別会計、水道事業会計などの公営事業会計も加えた赤字比率。19.68%を超えると財政健全化団体。30%を超えると財政再生団体。
- ③**実質公債費比率**→ 一般会計と特別会計のほか、消防組合・医療事務組合などの一部事務組合の借入金のうち町が負担義務のある金額も含んでいます。25%を超えると財政健全化団体。35%を超えると財政再生団体。
- ④**将来負担比率**→ 地方債、公営企業の借入金、一部事務組合などの負担見込額、職員の退職手当負担見込額などを含んでいます。350%を超えると財政健全化団体。
- ⑤**資金不足比率**→ 20%を超えると経営健全化計画の策定が義務づけられます。



広報おうらをご覧のよい子のみんな。決算から分かる通り、邑楽町の財政は健全に運営されているんだ。



一般会計 歳入

▶一般会計の歳入は、前年度より2億6,909万円減少しています。町の自主財源は48億8,025万円（全体の56.1%）ですが、前年度より3億9,812万円減少しています。

▶自主財源と依存財源は、町で財源を確保できるかで区別されます。地方税、使用料・手数料、財産収入などが自主財源。国や県に頼ったものが依存財源です。地方交付税や地方譲与税、国・県支出金、町債などがこれにあたります。

自主財源が多いほど、町で自由に使えるお金も多くなり、財政の安定性が確保できるんだ。

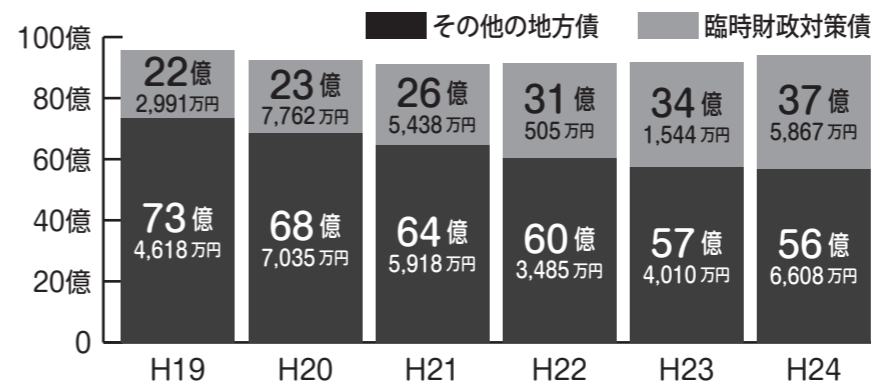


	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	33億5,827万円	32億1,587万円	1億4,240万円
後期高齢者医療	2億1,032万円	2億911万円	121万円
介護保険	16億6,958万円	16億4,086万円	2,872万円
下水道事業	3億1,461万円	2億8,197万円	3,264万円
学校給食事業	2億5,910万円	2億4,711万円	1,199万円
水道事業	5億1,451万円	5億1,030万円	421万円

特別会計 歳入合計 63億2,639万円 歳出合計 61億522万円

▶特別会計は、公共料金や保険料など、その事業収入で歳出を賄うことが求められている事業を経理するための会計です。一般会計とは区別して経理します。

▶国民健康保険特別会計の歳出決算額は、平成23年度と比較して2億3,520万円（前年度比7.9%）増加しています。原因のひとつは、高齢化と医療技術の高度化などにより、医療費が増加しているからです。



地方債残高 地方債は自治体のローン

▶町の全会計における地方債（町の借金）は、臨時財政対策債が毎年増加傾向で、町の発行する「その他の地方債」は、減少傾向です。

▶臨時財政対策債は、一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債です。返済費用の全額を国が負担することになっています。